

2006年7月27日
富士通株式会社

2006年度 第1四半期 連結決算概要

目 次

	頁
平成19年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）	1
1．概況	2
2．経営成績及び財政状態、連結財務諸表等	8
(1) 連結損益計算書	8
(2) セグメント情報	9
(3) 連結貸借対照表	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結株主資本等変動計算書	13
3．通期の業績見通し	14
4．補足資料	17



平成 19 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 18 年 7 月 27 日

上場会社名 富士通株式会社

（コード番号：6702 東京、大阪、名古屋 各第 1 部）

（URL <http://jp.fujitsu.com>）

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 黒川 博昭
 問合せ先責任者 役職名 広報 I R 室長 氏名 山田 悦朗

TEL：（03）6252 - 2175

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ・最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 - ・連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
- 連結（新規）7 社 （除外）8 社 持分法（新規）0 社 （除外）1 社

2. 平成 19 年 3 月期第 1 四半期財務・業績の概況（平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 6 月 30 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

	売上高		営業利益		経常利益		当期（四半期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19 年 3 月期第 1 四半期	1,102,870	7.5	14,574	1.6	6,338	-	664	73.4
18 年 3 月期第 1 四半期	1,026,339	1.8	14,811	-	478	-	2,498	-
(参考)18 年 3 月期	4,791,416	0.6	181,488	13.3	126,057	41.6	68,545	114.8

	1 株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
19 年 3 月期第 1 四半期	0.32	0.23
18 年 3 月期第 1 四半期	1.21	1.08
(参考)18 年 3 月期	32.83	29.54

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示します。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19 年 3 月期第 1 四半期	3,670,481	1,063,843	24.3	431.17
18 年 3 月期第 1 四半期	3,536,272	775,131	21.9	374.86
(参考)18 年 3 月期	3,807,131	917,045	24.1	443.20

(注)平成 18 年 3 月期第 1 四半期及び平成 18 年 3 月期の数値は、従来の「株主資本」を「純資産」の欄に、「株主資本比率」を「自己資本比率」の欄に、「1 株当たり株主資本」を「1 株当たり純資産」の欄に記載しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19 年 3 月期第 1 四半期	76,817	48,294	31,400	328,961
18 年 3 月期第 1 四半期	43,642	46,347	22,899	387,347
(参考)18 年 3 月期	405,579	234,684	207,840	420,894

3. 平成 19 年 3 月期の連結業績予想（平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	2,350,000	15,000	5,000	2.42
通期	5,200,000	150,000	80,000	38.69

* 上記業績予想の利用時における注意事項等については、本資料の「3. 通期の業績見通し」（14 ページ）を参照して下さい。

1. 概況

【事業環境】

当第1四半期における当社グループを取り巻く事業環境は、昨年度に引き続き安定的に推移しております。原油価格の高騰や素材価格の上昇は続いており、米国での金利上昇に加え日本の超低金利政策の終息への思惑から金融市場に一時的な混乱が見られたものの、米国及び中国を中心とする実体経済は総じて好調でした。国内経済も個人消費の拡大は続いており、企業の投資意欲は依然として強く、堅実なペースで成長を続けています。

IT投資については、好調を継続している海外に加え、国内においても全体として、企業マインドが効率化から成長へシフトするなかで、戦略的な投資が動き始めました。金融分野を中心に製造・流通など、さらには中央から一部の地方にも広がりが見られます。

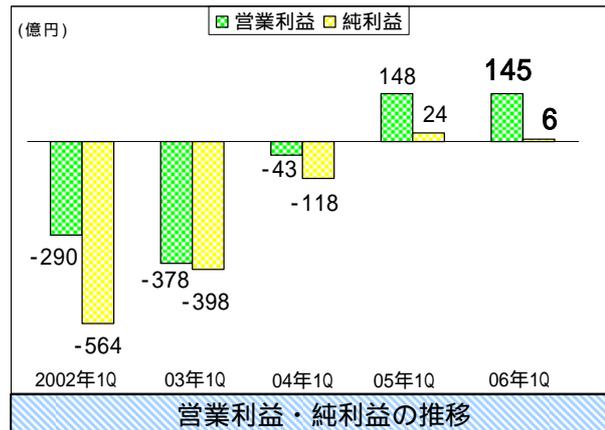
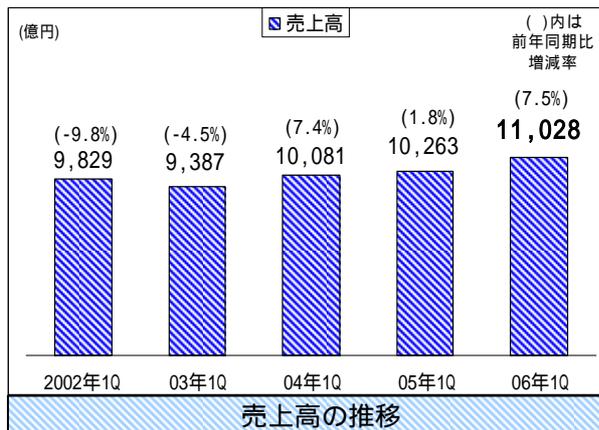
当社グループは、グローバルマーケットの動向をきめ細かく把握し、迅速に対応するため、6月に米州、EMEA（欧州、中近東、アフリカ）、中国、APAC（アジア、パシフィック）の4地域にそれぞれ総支配人を置き、海外ビジネスを強化するための組織体制をスタートさせました。

また、経営とITの一体化が進むなかで、迅速な意思決定と効率的な事業活動を実現するために、当社自身がIT利用の先進事例となるべく社内ITの革新、業務改善への取り組みを加速させてまいります。そして、そこで得られた実践的ノウハウを活かして、お客さまへより説得力のある提案活動を進め、グローバルな事業の拡大に取り組んでまいります。

【第1四半期の概況】

	2006年度 第1四半期 〔2006年4月1日～ 2006年6月30日〕	2005年度 第1四半期 〔2005年4月1日～ 2005年6月30日〕	前年同期比	4月公表比
売上高 (対前年同期比増減率)	億円 11,028 (7.5%)	億円 10,263 (1.8%)	億円 765	億円 28
営業利益 (営業利益率)	145 (1.3%)	148 (1.4%)	▲ 2 (▲ 0.1%)	145 (1.3%)
経常利益	63	4	58	
特別利益	-	159	▲ 159	
当期純利益	6	24	▲ 18	

【損益の状況】



当第1四半期の売上高は1兆1,028億円で、前年同期比7.5%の増収となりました。前年同期にあった進行基準への移行影響を除くと10%近い増収です。

国内はほぼ前年同期並みでした。ロジックLSIやその他の電子部品が好調であったほか、サーバ関連や、ソリューション/LSIが金融分野を中心に製造・流通分野などで増収となりました。一方、携帯電話基地局は好調に推移したものの、前年同期の需要が特に高水準であったことにより減収となりました。個人向けパソコンは市場が低迷するなか伸び悩みましたが、“地デジ”対応機種など新機種は健闘しました。

海外は、前年同期比で20%を超える増収です。光伝送システムやアウトソーシングなどのサービスビジネス、ロジックLSIが大きく伸び、パソコンやHDDも増収となるなど、3つの事業セグメントすべてで増収となりました。

営業利益は145億円とほぼ前年同期並みでしたが、年初の計画を大きく上回りました。

国内外でアウトソーシングなどのサービスビジネスが好調だったほか、LSIの三重工場300mmラインの立ち上げコストの負担が減少したこと、携帯電話を中心にコスト効率の改善などが進んだことにより、利益の上積みを確認することができました。一方、販売費及び一般管理費は英国のアウトソーシングサービスの成長や、北米での買収による規模拡大に加え、テクノロジーソリューションを中心に戦略的な先行投資を積極的に行ったことにより、前年同期比で128億円増加しましたが、営業利益はほぼ前年同期並みとなりました。

営業外損益では金融収支が4億円の黒字、また退職給付積立不足償却額の負担は8億円と、前年同期の100億円近いレベルから90億円の大幅費用減となりました。昨年9月に行った年金制度改訂と前年度末の株価の上昇によるものです。この結果、経常利益は63億円と、前年同期比58億円の増益となりました。四半期業績を開示している2000年度以降で、第1四半期としては過去最高の利益です。

当第1四半期は特別利益の計上はなく、当期純利益は6億円でした。前年度に続き第1四半期から利益を計上しました。

<4月公表比>

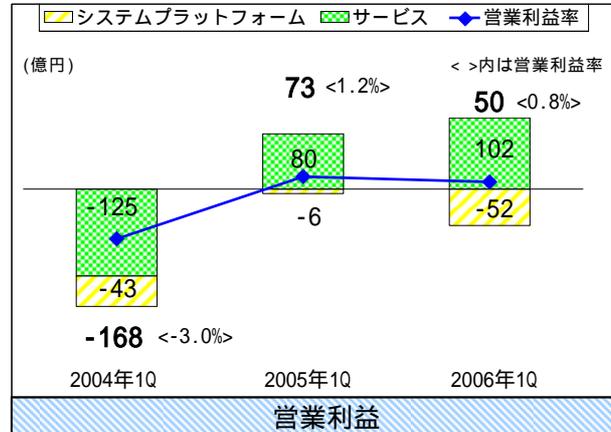
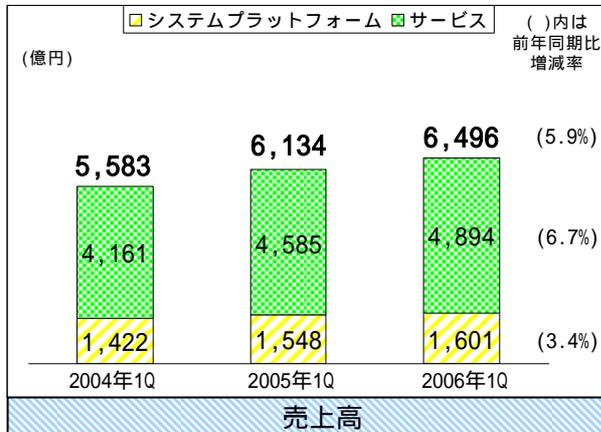
売上高はほぼ年初計画通りでした。ユビキタスプロダクトソリューションでHDDなどが計画を下回りましたが、LSIや国内外のアウトソーシングなどのサービスビジネスが計画を上回りました。

営業利益は、年初計画より145億円増加しました。ロジックLSIや国内外のサービスビジネスが期待以上に好調だったことに加え、ほぼすべてのビジネスユニットにおいて、コスト効率の改善努力によって販売価格の低下などの市況変動リスクをカバーすることができました。

【セグメント別の状況】

当第1四半期のセグメント別の売上高(セグメント間の内部売上高を含む)及び営業利益は以下の通りです。

(1) テクノロジーソリューション



売上高は6,496億円で、前年同期比5.9%の増収となりました。国内は前年同期比2.5%の減収となりましたが、前年同期にあった進行基準への移行影響を除くと1.7%の増収です。国内の携帯電話基地局は前年同期の需要が特に高水準であったことにより減収となりましたが、海外はUNIXサーバや光伝送システム、アウトソーシングなどのサービスビジネスが好調に推移し、また北米での買収効果もあり、前年同期比24.9%の大幅増収となりました。

営業利益は50億円で、前年同期比23億円の減益となりました。サービス分野では国内外でアウトソーシングなどのサービスビジネスが好調に推移し増益となりましたが、携帯電話基地局の減収の影響が大きく全体では減益となりました。

システムプラットフォーム

売上高は1,601億円で、前年同期比3.4%の増収となりました。国内はシステムプロダクトが増収となりましたが、ネットワークプロダクトは携帯電話基地局が引き続き好調に推移するも前年同期の需要が特に高水準であったことにより減収となりました。海外はUNIXサーバが売上を大きく伸ばしたほか、北米市場において光伝送システムが引き続き好調に推移するなど、前年同期比20.2%の大幅増収となりました。

	2006年度 第1四半期	前年同期比増減率
売上高	1,601億円	3.4%
国内	1,092億円	▲2.9%
海外	509億円	20.2%

営業利益は52億円の損失と前年同期比で46億円悪化しました。増収となったサーバ関連や光伝送システムにおいても、グローバルな価格競争激化の影響を受けるとともに、先行投資の負担が継続しました。また、前年同期の需要が高水準であった携帯電話基地局の減収による影響を受けました。

当社はプラットフォーム製品の事前検証・評価を行い、お客様のシステム構築を支援するオープンシステムの検証センターを日本のほかに、欧州、米国、シンガポール、韓国と拡充してまいりました。急速な拡大を続ける中国IT市場においても、プラットフォーム製品の拡販を推進するため、上海及び香港に、Platform Solution Center を開設しました。

サービス

売上高は4,894億円で、前年同期比6.7%の増収となりました。国内は前年同期比2.3%の減収となりましたが、前年同期にあった進行基準適用に伴い過年度作業に係る売上を一括計上した影響を除くと3.5%の増収です。

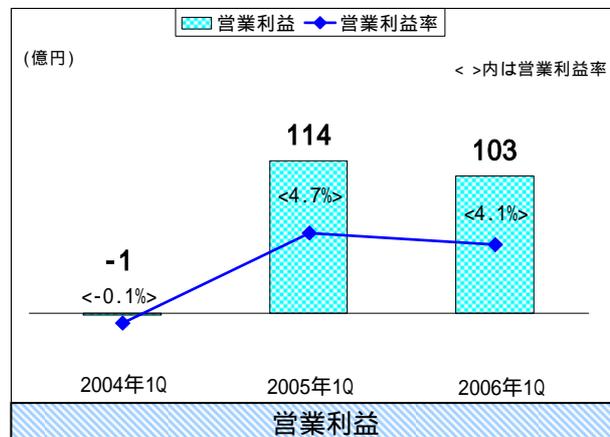
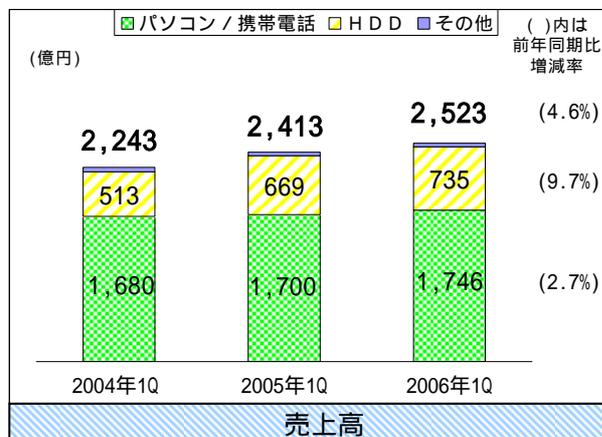
国内は、アウトソーシングが好調であったほか、ソリューション/SIも金融や製造・流通分野を中心に回復の裾野が確実に広がり、増収となりました。海外は、英国や、買収効果があった北米で、アウトソーシングなどのサービスビジネスが好調に推移し、前年同期比26.2%の大幅増収となりました。

		2006年度 第1四半期	前年同期比増減率
売	上	4,894 億円	6.7 %
国	内	3,061 億円	▲ 2.3 %
海	外	1,832 億円	26.2 %

営業利益は102億円で、前年同期比22億円の増益となりました。国内のソリューション/SIでは安定化してきたプロジェクト損益のさらなる収益性向上を図るために、開発効率化のためのしくみづくりやSEによる商談提案活動などの費用を増やしました。また、英国でのアウトソーシングサービスが引き続き好調に推移するとともに、買収により北米でのサービスビジネスが拡大し、全体として増益となりました。

当社とシスコシステムズ社は両社の戦略提携に基づき、NGN (Next Generation Network) を構築する次世代ハイエンドルータの販売を5月より開始しました。日本における共同マーケティング活動によりお客様の要望にお応えしたソリューションを提供するとともに、両社共同で実施している品質管理活動や、万一の障害時における迅速な対応についても引き続き強化することにより、売上の拡大を目指してまいります。

(2) ユビキタスプロダクトソリューション

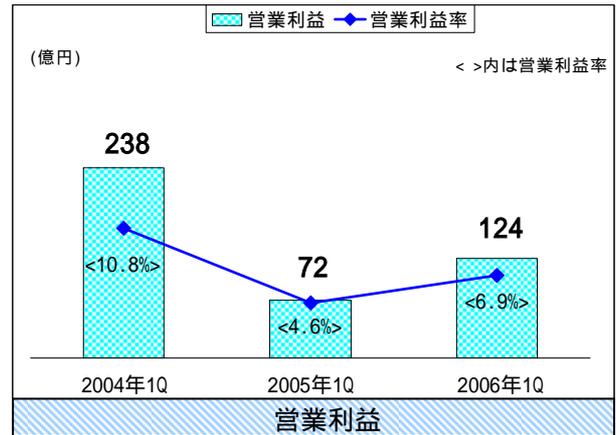
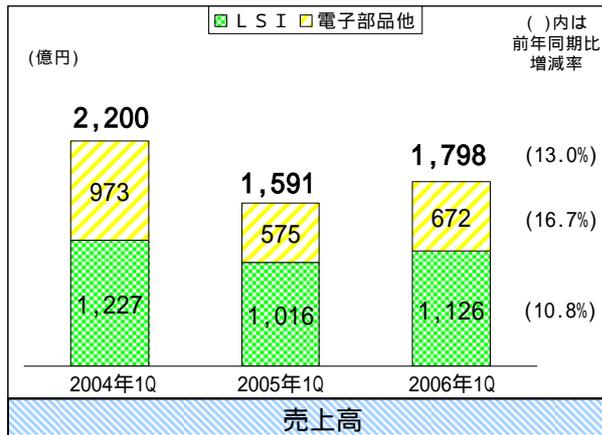


売上高は2,523億円で、前年同期比4.6%の増収となりました。国内はほぼ前年同期並みです。パソコンが国内の個人向けの需要低迷と企業向けの競争激化により伸び悩みましたが、携帯電話は堅調に推移しました。海外はパソコンやHDDが引き続き好調に推移し、二桁増収となりました。

		2006年度 第1四半期	前年同期比増減率
売	上	2,523 億円	4.6 %
国	内	1,620 億円	1.2 %
海	外	903 億円	11.1 %

営業利益は103億円で、前年同期をやや下回りました。携帯電話はものづくりの強化によるコストダウン・品質強化などにより利益を増やしましたが、パソコンやHDDは国内外での価格競争激化などの影響がありました。

(3) デバイスソリューション



売上高は1,798億円で、前年同期比13.0%の増収となりました。ロジックLSIはデジタル家電及び自動車関連向けを中心に需要が堅調であったことに加え、三重工場300mmラインの量産本格化も寄与し、国内及び海外向けともに増収となりました。特に海外はアジア向けを中心に20.5%の大幅増収となりました。

	2006年度 第1四半期	前年同期比増減率
売上高	1,798 億円	13.0%
国内	986 億円	7.4%
海外	811 億円	20.5%

営業利益は124億円で、前年同期比51億円の増益となりました。ロジックLSIは増収効果に加え、三重工場300mm第1棟の量産本格化で、前年同期にあった立ち上げ費用の負担が減少したことなどにより増益となりました。また、その他の電子部品も引き続き好調に推移しました。

先端テクノロジー商品への需要増加に対応するため、先頃、建設を決定した三重工場300mm第2棟は当年4月に着工しました。計画通りに建設が進んでおり、2007年4月の稼働を予定しております。

【資産、負債、純資産の状況】

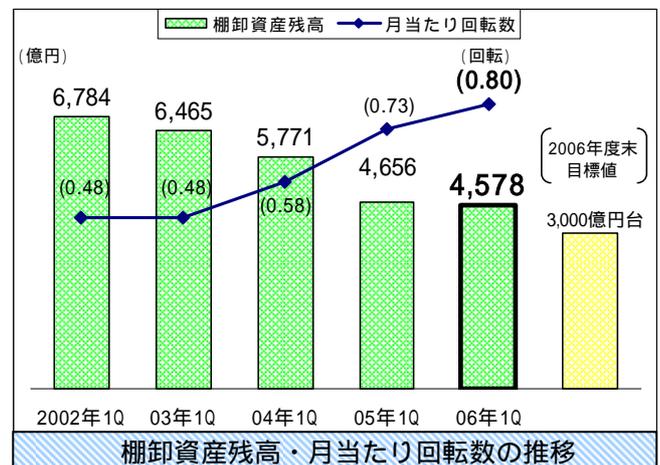
	2006年度 第1四半期	前年度末比	前年同期末比
総資産 (棚卸資産)	36,704 億円 (4,578 億円)	▲ 1,366 億円 (490 億円)	1,342 億円 (▲ 78 億円)
有利子負債 (ネット有利子負債)	9,757 億円 (6,484 億円)	471 億円 (1,411 億円)	▲ 1,438 億円 (▲ 823 億円)
純資産	10,638 億円	▲ 262 億円	1,259 億円
D / E レシオ (ネットD / Eレシオ)	1.09 倍 (0.73 倍)	0.08 倍 (0.18 倍)	▲ 0.35 倍 (▲ 0.21 倍)

当第1四半期末の総資産残高は、3兆6,704億円と、前年度末に比べ1,366億円減少しました。流動資産は1兆7,953億円と、売掛債権回収などにより前年度末比1,373億円減少しました。棚卸資産は4,578億円で、今後の売上に対応するため前年度末比では490億円増加しましたが、前年同期末比では78億円の減少です。月当たり回転数も前年同期末比で0.07回改善し、0.80回となりました。資産効率改善の取り組みが確実に実を結びつつあります。

固定資産は1兆8,751億円と、三重工場300mm第1棟の生産能力増強投資などにより有形固定資産が増加しましたが、投資有価証券の時価下落などによりほぼ前年度末並みとなりました。

負債残高は2兆6,066億円と、買掛債務の支払などにより前年度末に比べ1,104億円減少しました。有利子負債残高は9,757億円と、運転資金の増加の一部を短期借入金でまかなったことなどにより前年度末に比べ471億円増加し、D/Eレシオは1.09倍となりました。

純資産は1兆638億円と、投資有価証券の時価下落などにより前年度末比262億円減少しました。株主資本の比率は21.1%、評価・換算差額等を含む自己資本比率は24.3%と、前年度末より上昇しました。



【キャッシュ・フローの状況】

	2006年度 第1四半期	前年同期比
営業キャッシュ・フロー	▲ 768 億円	▲ 331 億円
投資キャッシュ・フロー	▲ 482 億円	▲ 19 億円
フリー・キャッシュ・フロー	▲ 1,251 億円	▲ 351 億円

当第1四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは768億円のマイナス、前年同期比で331億円の支出増となりました。前年同期にあった受取和解金の収入がなくなったことや、営業費用の支払が増加したことなどによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは前年同期並みの482億円で、主に三重工場300mm第1棟の生産能力増強投資によるものです。

営業及び投資キャッシュ・フローを合わせたフリー・キャッシュ・フローは1,251億円のマイナスとなり、前年同期比では351億円の支出増となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは314億円のプラス、現金及び現金同等物の期末残高は、前年度末に比べて919億円減少の3,289億円となりました。

2. 経営成績及び財政状態、連結財務諸表等

(1) 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	2006年度 第1四半期 (2006年4月1日～ 2006年6月30日)		2005年度 第1四半期 (2005年4月1日～ 2005年6月30日)		前年同期比	
		売上高比		売上高比		増減率
		%		%		%
売上高	1,102,870	100.0	1,026,339	100.0	76,531	7.5
売上原価	815,068	73.9	751,171	73.2	63,897	8.5
販売費及び一般管理費	273,228	24.8	260,357	25.4	12,871	4.9
営業利益	14,574	1.3	14,811	1.4	▲ 237	▲ 1.6
営業外損益						
金融収支	470		▲ 254		724	
持分法による投資利益	▲ 3,883		▲ 4,214		331	
退職給付積立不足償却額	▲ 814		▲ 9,815		9,001	
その他	▲ 4,009		▲ 50		▲ 3,959	
計	▲ 8,236	▲ 0.7	▲ 14,333	▲ 1.4	6,097	-
経常利益	6,338	0.6	478	0.0	5,860	-
特別利益						
受取和解金	-	-	15,957	1.6	▲ 15,957	
税金等調整前当期純利益	6,338	0.6	16,435	1.6	▲ 10,097	▲ 61.4
法人税等	3,517	0.3	12,712	1.3	▲ 9,195	
少数株主利益	2,157	0.2	1,225	0.1	932	
当期純利益	664	0.1	2,498	0.2	▲ 1,834	▲ 73.4

注) 「金融収支」には受取利息、受取配当金及び支払利息を含めて表示しております。

(2) セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

(単位：百万円)

		2006年度 第1四半期 〔2006年4月1日～ 2006年6月30日〕	2005年度 第1四半期 〔2005年4月1日～ 2005年6月30日〕	前年同期比	
					増減率(%)
テクノロジー ソリューション	売上高	649,616	613,415	36,201	5.9
	国内	415,398	425,836	▲ 10,438	▲ 2.5
	海外	234,218	187,579	46,639	24.9
	営業利益 (営業利益率)	5,030 (0.8%)	7,369 (1.2%)	▲ 2,339 (▲ 0.4%)	▲ 31.7
ユビキタス プロダクト ソリューション	売上高	252,383	241,366	11,017	4.6
	国内	162,067	160,069	1,998	1.2
	海外	90,316	81,297	9,019	11.1
	営業利益 (営業利益率)	10,350 (4.1%)	11,410 (4.7%)	▲ 1,060 (▲ 0.6%)	▲ 9.3
デバイス ソリューション	売上高	179,806	159,172	20,634	13.0
	国内	98,649	91,818	6,831	7.4
	海外	81,157	67,354	13,803	20.5
	営業利益 (営業利益率)	12,421 (6.9%)	7,251 (4.6%)	5,170 (2.3%)	71.3
その他	売上高	116,043	102,188	13,855	13.6
	国内	84,288	78,715	5,573	7.1
	海外	31,755	23,473	8,282	35.3
	営業利益 (営業利益率)	2,154 (1.9%)	1,617 (1.6%)	537 (0.3%)	33.2
消去/全社	売上高	▲ 94,978	▲ 89,802	▲ 5,176	-
	営業利益	▲ 15,381	▲ 12,836	▲ 2,545	-
合計	売上高	1,102,870	1,026,339	76,531	7.5
	国内	688,870	682,012	6,858	1.0
	海外	414,000	344,327	69,673	20.2
	営業利益 (営業利益率)	14,574 (1.3%)	14,811 (1.4%)	▲ 237 (▲ 0.1%)	▲ 1.6

注) 売上高にはセグメント間の内部売上高を含みます。

売上高の主要製品別内訳

(単位：百万円)

	2006年度 第1四半期 (2006年4月1日～ 2006年6月30日)	2005年度 第1四半期 (2005年4月1日～ 2005年6月30日)	前年同期比	
				増減率(%)
テクノロジーソリューション	649,616	613,415	36,201	5.9
システムプラットフォーム	160,186	154,872	5,314	3.4
システムプロダクト	69,297	61,187	8,110	13.3
ネットワークプロダクト	90,889	93,685	▲ 2,796	▲ 3.0
サービス	489,430	458,543	30,887	6.7
ソリューション/SI	213,741	205,098	8,643	4.2
インフラサービス	248,289	221,452	26,837	12.1
その他	27,400	31,993	▲ 4,593	▲ 14.4
ユビキタスプロダクトソリューション	252,383	241,366	11,017	4.6
パソコン/携帯電話	174,677	170,076	4,601	2.7
HDD	73,511	66,995	6,516	9.7
その他	4,195	4,295	▲ 100	▲ 2.3
デバイスソリューション	179,806	159,172	20,634	13.0
LSI	112,600	101,600	11,000	10.8
電子部品他	67,206	57,572	9,634	16.7

注) 売上高にはセグメント間の内部売上高を含みます。

テクノロジーソリューションの営業利益内訳

(単位：百万円)

	2006年度 第1四半期 (2006年4月1日～ 2006年6月30日)	2005年度 第1四半期 (2005年4月1日～ 2005年6月30日)	前年同期比	
				増減率(%)
テクノロジーソリューション	5,030 (0.8%)	7,369 (1.2%)	▲ 2,339 (▲ 0.4%)	▲ 31.7
システムプラットフォーム	▲ 5,268 (▲ 3.3%)	▲ 657 (▲ 0.4%)	▲ 4,611 (▲ 2.9%)	-
サービス	10,298 (2.1%)	8,026 (1.8%)	2,272 (0.3%)	28.3

注) ()内は営業利益率であります。

(3) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	2006年度 第1四半期		2005年度		増 減
	(2006年6月末)	構成比	(2006年3月末)	構成比	
資 産 の 部		%		%	
流 動 資 産	1,795,360	48.9	1,932,748	50.8	▲ 137,388
現預金及び有価証券	330,711		423,263		▲ 92,552
売掛債権	789,534		885,300		▲ 95,766
棚卸資産	457,802		408,710		49,092
その他	217,313		215,475		1,838
固 定 資 産	1,875,121	51.1	1,874,383	49.2	738
有形固定資産	810,956		776,976		33,980
無形固定資産	240,304		235,904		4,400
投資その他の資産	823,861		861,503		▲ 37,642
資 産 合 計	3,670,481	100.0	3,807,131	100.0	▲ 136,650
負 債 の 部					
流 動 負 債	1,524,645	41.5	1,602,505	42.1	▲ 77,860
買掛債務	641,579		757,006		▲ 115,427
社債及び短期借入金	282,611		234,848		47,763
その他	600,455		610,651		▲ 10,196
固 定 負 債	1,081,993	29.5	1,114,551	29.3	▲ 32,558
社債及び長期借入金	693,172		693,765		▲ 593
その他	388,821		420,786		▲ 31,965
負 債 合 計	2,606,638	71.0	2,717,056	71.4	▲ 110,418
純 資 産 の 部					
株 主 資 本	774,835	21.1	780,694	20.5	▲ 5,859
資本金	324,625		324,625		-
資本剰余金	498,021		498,019		2
利益剰余金	▲ 46,285		▲ 40,485		▲ 5,800
自己株式	▲ 1,526		▲ 1,465		▲ 61
評価・換算差額等	116,640	3.2	136,351	3.6	▲ 19,711
その他有価証券評価差額金等	162,660		182,218		▲ 19,558
為替換算調整勘定	▲ 46,020		▲ 45,867		▲ 153
株主資本、評価・換算差額等計	891,475	24.3	917,045	24.1	▲ 25,570
少 数 株 主 持 分	172,368	4.7	173,030	4.5	▲ 662
純 資 産 合 計	1,063,843	29.0	1,090,075	28.6	▲ 26,232
負 債、純 資 産 合 計	3,670,481	100.0	3,807,131	100.0	▲ 136,650
有利子負債残高	975,783	26.6	928,613	24.4	47,170
D / E レシオ	1.09倍		1.01倍		0.08倍

注1) 2005年度末数値については比較のため、従来の数値を並べ替えて表示しております。

注2) 「その他有価証券評価差額金等」には、「土地再評価差額金」及び「繰延ヘッジ損益」を含みます。

注3) D/Eレシオは、有利子負債残高÷(純資産合計 - 少数株主持分)により算出しております。

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	2006年度 第1四半期	2005年度 第1四半期	前年同期比
	(2006年4月1日～ 2006年6月30日)	(2005年4月1日～ 2005年6月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前当期純利益	6,338	16,435	▲ 10,097
減価償却費及び連結調整勘定償却額	57,811	54,144	3,667
引当金の繰入額(▲ 取崩額)	▲ 11,129	▲ 3,067	▲ 8,062
持分法による投資損失(▲ 利益)	3,883	4,214	▲ 331
固定資産廃却	3,853	2,697	1,156
売掛債権の減少(▲ 増加)	99,678	150,877	▲ 51,199
棚卸資産の減少(▲ 増加)	▲ 51,163	▲ 57,964	6,801
買掛債務の増加(▲ 減少)	▲ 116,058	▲ 133,594	17,536
その他の	▲ 70,030	▲ 77,384	7,354
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲ 76,817	▲ 43,642	▲ 33,175
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得	▲ 42,454	▲ 35,681	▲ 6,773
投資有価証券の取得及び売却	▲ 84	▲ 24,481	24,397
その他の	▲ 5,756	13,815	▲ 19,571
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 48,294	▲ 46,347	▲ 1,947
+ (フリー・キャッシュ・フロー)	▲ 125,111	▲ 89,989	▲ 35,122
財務活動によるキャッシュ・フロー			
社債及び借入金の増加(▲ 減少)	46,914	36,006	10,908
配当金の支払額	▲ 8,579	▲ 6,204	▲ 2,375
その他の	▲ 6,935	▲ 6,903	▲ 32
財務活動によるキャッシュ・フロー	31,400	22,899	8,501
現金及び現金同等物にかかる換算差額	1,120	▲ 79	1,199
現金及び現金同等物の増減額	▲ 92,591	▲ 67,169	▲ 25,422
現金及び現金同等物の期首残高	420,894	454,516	▲ 33,622
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	658	-	658
現金及び現金同等物の期末残高	328,961	387,347	▲ 58,386

(5) 連結株主資本等変動計算書

2006年度 第1四半期 (2006年4月1日 ~ 2006年6月30日)

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算差額等		少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金等	為替換算 調整勘定		
2006年3月末残高	324,625	498,019	▲ 40,485	▲ 1,465	780,694	182,218	▲ 45,867	173,030	1,090,075
当四半期変動額									
剰余金の配当			▲ 6,203		▲ 6,203				▲ 6,203
役員賞与			▲ 665		▲ 665				▲ 665
当期純利益			664		664				664
自己株式の取得及び処分		2		▲ 61	▲ 59				▲ 59
その他			404		404				404
株主資本以外の項目の 当四半期変動額(純額)						▲ 19,558	▲ 153	▲ 662	▲ 20,373
当四半期変動額合計		2	▲ 5,800	▲ 61	▲ 5,859	▲ 19,558	▲ 153	▲ 662	▲ 26,232
2006年6月末残高	324,625	498,021	▲ 46,285	▲ 1,526	774,835	162,660	▲ 46,020	172,368	1,063,843

3. 通期の業績見通し

当第1四半期の売上高及び営業利益は4月公表時の計画を上回りました。これは国内外でサービスビジネスが堅調に推移するとともに、IT市場の回復基調に合わせて、ロジックLSI、ネットワークプロダクトなどの所要が順調に推移したことなどによります。営業利益の改善に加えて、昨年9月に行った年金制度改訂と前年度末の株価上昇による退職給付積立不足償却額の負担軽減により営業外損益は抜本的に改善しました。この結果、経常利益は前年同期を大きく上回る利益を確保しました。

当社グループはすべてのセグメントにおいて、グローバルな市場で価格をはじめとして激しい競争環境のなかにあります。テクノロジーソリューション及びユビキタスプロダクトソリューションにおいては引き続き、開発・設計といった上流工程からものづくりの現場にわたるSCM全体でのコストダウン・効率化に努め、お客様へITの豊かな価値を提供してまいります。また、ロジックLSIにリソースを集中したデバイスソリューションにおいては、これらの努力に加えて市況と収益性を見極めながら生産能力の増強を臨機応変に進めてまいります。

中間期の業績予想については、4月公表時の計画を増額修正いたします。国内外のアウトソーシングなどのサービスビジネスが堅調に推移していることに加え、デジタル家電向けのロジックLSIの需要などが好調を維持しております。しかしながら、通期の業績予想については、4月公表時の計画から変更いたしません。中間期の業績が今回の上方修正後でも前年の実績には及ばぬこと、特に年度末に売上及び利益の集中度が高いプロダクト関連やソリューション/LSIビジネスにおいて不確定な要素が含まれていること、また好調なロジックLSIなどにおいても、現段階で年間の市況と収益性を見極めを変えるには至っていないことなどによります。

当社グループは今後とも年初の利益目標の確実な達成に向けて全力で取り組んでまいります。

(単位：億円)

	2006年度 中間期 (予想)	4月公表比	2005年度 中間期 (実績)
売上高	23,500	-	21,923
営業利益	350	150	475
経常利益	150	150	158
当期純利益	50	50	76

(単位：億円)

	2006年度 通期 (予想)	4月公表比	2005年度 通期 (実績)
売上高	52,000	-	47,914
営業利益	1,900	-	1,814
経常利益	1,500	-	1,260
当期純利益	800	-	685

この資料に記載した内容には、現時点の経営予測や仮説に基づく、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの将来の見通しに関する記述において明示または黙示されていることは、既知または未知のリスクや不確定な要因により、実際の結果・業績または事象と異なることがあります。実際の結果・業績または事象に影響を与えうるリスクや不確定な要素には、以下のようなものが含まれます(但しここに記載したものはあくまで例であり、これらに限られるものではありません)。

- ・ 主要市場における景気動向(特に日本、北米、欧州)
- ・ ハイテク市場における変動性(特に半導体、パソコンなど)
- ・ 為替動向、金利変動
- ・ 資本市場の動向
- ・ 価格競争の激化
- ・ 技術開発競争による市場ポジションの変化
- ・ 部品調達環境の変化
- ・ 提携、アライアンス、技術供与による競争関係の変化
- ・ 不採算プロジェクト発生の可能性
- ・ 会計方針の変更

[セグメント情報]
事業の種類別セグメント情報

(単位：億円)

		2006年度 (予想)			2005年度 (実績)	前年比	
		4月時予想	今回予想	差異		増減率(%)	
テクノロジー ソリューション	売上高	31,800	31,800	-	29,839	1,960	6.6
	国内	21,500	21,500	-	20,922	577	2.8
	海外	10,300	10,300	-	8,916	1,383	15.5
	営業利益 (営業利益率)	1,850 (5.8%)	1,850 (5.8%)	- (-%)	1,642 (5.5%)	207 (0.3%)	12.7
ユビキタス プロダクト ソリューション	売上高	11,600	11,600	-	10,599	1,000	9.4
	国内	7,300	7,300	-	7,008	291	4.2
	海外	4,300	4,300	-	3,590	709	19.8
	営業利益 (営業利益率)	300 (2.6%)	300 (2.6%)	- (-%)	344 (3.3%)	▲ 44 (▲ 0.7%)	▲ 12.9
デバイス ソリューション	売上高	8,100	8,100	-	7,075	1,024	14.5
	国内	4,600	4,600	-	3,990	609	15.3
	海外	3,500	3,500	-	3,084	415	13.5
	営業利益 (営業利益率)	350 (4.3%)	350 (4.3%)	- (-%)	333 (4.7%)	17 (▲ 0.4%)	5.1
その他	売上高	4,700	4,700	-	4,473	226	5.1
	国内	3,500	3,500	-	3,365	134	4.0
	海外	1,200	1,200	-	1,108	91	8.3
	営業利益 (営業利益率)	100 (2.1%)	100 (2.1%)	- (-%)	77 (1.7%)	22 (0.4%)	29.7
消去/全社	売上高	▲ 4,200	▲ 4,200	-	▲ 4,073	▲ 126	-
	営業利益	▲ 700	▲ 700	-	▲ 582	▲ 117	-
合計	売上高	52,000	52,000	-	47,914	4,085	8.5
	国内	33,600	33,600	-	31,998	1,601	5.0
	海外	18,400	18,400	-	15,915	2,484	15.6
	営業利益 (営業利益率)	1,900 (3.7%)	1,900 (3.7%)	- (-%)	1,814 (3.8%)	85 (▲ 0.1%)	4.7

注) 売上高にはセグメント間の内部売上高を含みます。

売上高の主要製品別内訳

(単位：億円)

	2006年度(予想)			2005年度 (実績)	前年比	
	4月時予想	今回予想	差異		増減率(%)	
テクノロジーソリューション	31,800	31,800	-	29,839	1,960	6.6
システムプラットフォーム	7,500	7,500	-	7,176	323	4.5
システムプロダクト	3,800	3,800	-	3,542	257	7.3
ネットワークプロダクト	3,700	3,700	-	3,634	65	1.8
サービス	24,300	24,300	-	22,662	1,637	7.2
ソリューション/SI	10,900	10,900	-	10,204	695	6.8
インフラサービス	11,200	11,200	-	10,372	827	8.0
その他	2,200	2,200	-	2,085	114	5.5
ユビキタスプロダクトソリューション	11,600	11,600	-	10,599	1,000	9.4
パソコン/携帯電話	8,000	8,000	-	7,566	433	5.7
HDD	3,400	3,400	-	2,854	545	19.1
その他	200	200	-	178	21	11.8
デバイスソリューション	8,100	8,100	-	7,075	1,024	14.5
LSI	5,100	5,100	-	4,601	499	10.8
電子部品他	3,000	3,000	-	2,474	525	21.2

注) 売上高にはセグメント間の内部売上高を含みます。

テクノロジーソリューションの営業利益内訳

(単位：億円)

	2006年度(予想)			2005年度 (実績)	前年比	
	4月時予想	今回予想	差異		増減率(%)	
テクノロジーソリューション	1,850 (5.8%)	1,850 (5.8%)	- (-%)	1,642 (5.5%)	207 (0.3%)	12.7
システムプラットフォーム	250 (3.3%)	250 (3.3%)	- (-%)	262 (3.7%)	▲ 12 (▲ 0.4%)	▲ 4.9
サービス	1,600 (6.6%)	1,600 (6.6%)	- (-%)	1,379 (6.1%)	220 (0.5%)	16.0

注) ()内は営業利益率であります。

4. 補足資料

(1) 研究開発費

(単位：億円)

	2006年度(予想)			2005年度 (実績)
	4月時予想	今回予想	差異	
研究開発費	2,550	2,550	-	2,415
売上高比	4.9%	4.9%	-%	5.0%

(2) 設備投資・減価償却費

(単位：億円)

	2006年度(予想)			2005年度 (実績)
	4月時予想	今回予想	差異	
テクノロジーソリューション	1,200	1,200	-	931
ユビキタスプロダクトソリューション	300	300	-	194
デバイスソリューション	1,800	1,800	-	1,155
全社共通他	200	200	-	218
設備投資合計	3,500	3,500	-	2,499
国内	2,900	2,900	-	1,906
海外	600	600	-	593
減価償却費	2,200	2,200	-	1,698

(3) キャッシュ・フロー

(単位：億円)

	2006年度(予想)			2005年度 (実績)
	4月時予想	今回予想	差異	
当期純利益	800	800	-	685
減価償却費*	3,000	3,000	-	2,423
その他増減	1,500	1,500	-	946
(A)営業キャッシュ・フロー	5,300	5,300	-	4,055
(B)投資キャッシュ・フロー	▲ 3,600	▲ 3,600	-	▲ 2,346
(C)フリー・キャッシュ・フロー (A)+(B)	1,700	1,700	-	1,708
(D)財務キャッシュ・フロー	▲ 1,700	▲ 1,700	-	▲ 2,078
(E)キャッシュ・フロー計 (C)+(D)	0	0	-	▲ 369

* 連結調整勘定償却費を含む

(4) 為替レート(USドル)

	2006年度年間(予想)		
	4月時予想	今回予想	差異
業績予想前提レート	115円	115円	-

(5) パソコンの出荷台数

(単位：万台)

	2006年度(予想)			2005年度 (実績)
	4月時予想	今回予想	差異	
出荷台数	900	900	-	825

(6) 携帯電話の出荷台数

(単位：万台)

	2006年度(予想)			2005年度 (実績)
	4月時予想	今回予想	差異	
出荷台数	350	350	-	362

(7) HDDの生産台数

(単位：万台)

	2006年度(予想)			2005年度 (実績)
	4月時予想	今回予想	差異	
生産台数	3,350	3,350	-	2,521